

要請番号 (JL42416B22)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ヨルダン	G101 青少年活動		個別	交替 3代目	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

計画国際協力省

2) 配属機関名 (日本語)

セーブ ザ チルドレン インターナショナル
NGO

3) 任地 (ザータリ) JICA事務所の所在地 (アンマン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は国際NGOで、ヨルダン国内において子供の教育、保健、福祉分野を中心に様々な支援活動を行っている。2011年には隣国シリアから難民の流入が始まり、ヨルダン政府は2012年7月にヨルダン北部に難民キャンプ(ザータリ・キャンプ)を設置した。配属先はキャンプ内において幼稚園や児童施設等を開設して、子供たちの心身の健康と教育、福祉向上のための活動を行っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2011年シリア危機以降、ヨルダン国内に流入したシリア難民は登録者62万人、未登録者を含めると140万人と言われている。そのうちザータリ・キャンプでは約8万人が暮らしており、18歳以下の割合は半数以上を占める。配属先は同キャンプ内で幼稚園3園、青少年センター6か所(12~20歳位対象、男性用2カ所・女性用4カ所)を開設して、子供たちに対して図工や識字教育、音楽、スポーツ、職業訓練、啓発セミナーなど、各年代に応じた様々な活動を行っている。各施設ではヨルダン人スタッフとシリア人ボランティアが、学校の授業時間外に集まってくる子供たちのケアを行っている。難民キャンプという閉鎖的な環境で生活して、心身共にストレスを抱えた子供たちに、JVは同僚スタッフと協力して、遊びや学びを提供する。なお、安全対策上、JVはザータリ・キャンプ外の地方都市に居住し、JICA送迎車でキャンプ(活動先)に通勤する事となる。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

シリア難民キャンプ内の児童施設や青少年センターにおいて、以下の支援を行う。

1. 同僚と協力し、子供たちに対し各種レクリエーション活動を行う(図工、音楽、体育、スポーツ、ゲーム等)。
2. 同僚スタッフに対して、新しい活動のアイデアを提供する。

同活動は、内外からシリア難民支援活動として注目されており、各種視察団が頻繁に訪問するが、その受入対応にも協力が求められている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

男子施設:サッカーボール、グラウンド(30m×60m)、バレーコート、トレーニングジム、キーボード、リコーダーなど

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・各施設は性別で分けられている。
- ・男子施設では男性スタッフ、女子施設では女性スタッフが勤務している。
- ・各施設とも約8名のスタッフで構成、年齢層は20代~30代前半

- ・コーディネーター 1名、ヨルダン人スタッフ 3名、シリア人ボランティア 4名
- ・子供たちの数は日によって流動的(約20～40名)

5) 活動使用言語

アラビア語

6) 生活使用言語

アラビア語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（男性） 備考：男性用施設での活動となる為

[経験]：（指導経験）2年以上 備考：子供に対する指導力が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（地中海性気候） 気温：（0～40℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

同案件は、今まで活動範囲が限定されていた事から、通常任期を1年としてきたが、活動環境が徐々に安定改善して来た事を踏まえ、1年任期案件と並行して、同2年任期案件も開始した。